

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年8月4日提出
【発行者名】	アストマックス投信投資顧問株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 明丸 大悟
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
【事務連絡者氏名】	川田 純司 連絡場所 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
【電話番号】	03-6275-0936
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	Yjamプラス!
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	10兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出致しましたので、2020年2月10日付をもって提出した有価証券届出書（以下、「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、またその他の情報に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

原届出書の下記事項のうち以下に記載した箇所を、＜訂正前＞の内容から＜訂正後＞の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

＜訂正前＞

（省 略）

ファンドの特色

（省 略）

上記は2019年12月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（省 略）

＜訂正後＞

（省 略）

ファンドの特色

（省 略）

上記は2020年6月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（省 略）

(3) 【ファンドの仕組み】

<訂正前>

ファンドの仕組み

(省 略)

受託会社：みずほ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：資産管理サービス信託銀行株式会社)

(省 略)

委託会社等の概況（2019年12月末日現在）

(省 略)

<訂正後>

ファンドの仕組み

(省 略)

受託会社：みずほ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行)

(省 略)

委託会社等の概況（2020年6月末日現在）

(省 略)

2【投資方針】

（3）【運用体制】

<訂正前>

（省 略）

上記は2019年12月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

（省 略）

上記は2020年6月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3【投資リスク】

<訂正前>

（省略）

(2) 投資リスクの管理体制

（省略）

上記は2019年12月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（参考情報）



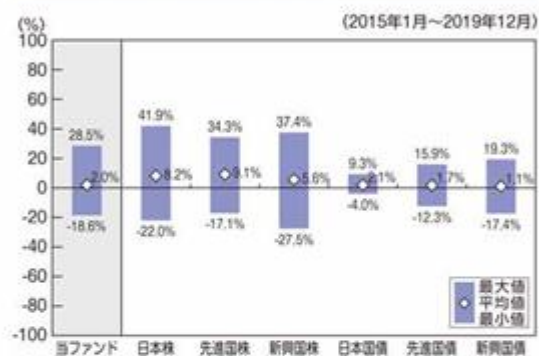
【参考情報】

下記のグラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。左のグラフは、過去5年間の当ファンドの年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)と分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。右のグラフは、過去5年間の年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したものであり、実際の基準価額と異なる場合があります。分配金再投資基準価額は設定日の属する月の月末より表示しています。
- * 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づき計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。当ファンドの年間騰落率は、過去5年間分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- * 各資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数>

- 日本株……東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
 - 先進国株……MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
 - 新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
 - 日本国債……NOMURA-BPI国債
 - 先進国債……FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 - 新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)
- ※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースで表示しています。
※各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は以下の通り帰属します。

指数	帰属
東証株価指数	株式会社東京証券取引所
MSCIコクサイ・インデックス	MSCI Inc.
MSCIエマージング・マーケット・インデックス	MSCI Inc.
NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
FTSE世界国債インデックス	FTSE Fixed Income LLC
JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	J.P.Morgan Securities LLC

<訂正後>

（省 略）

(2) 投資リスクの管理体制

（省 略）

上記は2020年6月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（参考情報）



参考情報

下記のグラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
左のグラフは、過去5年間の当ファンドの年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)と分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。
右のグラフは、過去5年間の年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したものであり、実際の基準価額と異なる場合があります。分配金再投資基準価額は設定日の属する月の月末より表示しています。
- * 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づき計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。当ファンドの年間騰落率は、過去5年間分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- * 各資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数>

- 日本株……東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
- 先進国株……MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債……NOMURA-BPI国債
- 先進国債……FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースで表示しています。

※各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は以下の通り帰属します。

指数	帰属
東証株価指数	株式会社東京証券取引所
MSCIコクサイ・インデックス	MSCI Inc.
MSCIエマージング・マーケット・インデックス	MSCI Inc.
NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
FTSE世界国債インデックス	FTSE Fixed Income LLC
JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	J.P.Morgan Securities LLC

5【運用状況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」につきまして、以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

以下は2020年6月30日現在の運用状況です。また、「投資比率」とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	21,426,995,870	91.27
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	2,049,288,540	8.73
合計(純資産総額)	-	23,476,284,410	100.00

その他資産の投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	日本	2,057,220,000	8.76

株価指数先物取引の評価にあたっては、取引所の発表する清算値段等を用いています。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価		時価		投資比率(%)
						単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	146,500	6,935	1,015,915,039	6,762	990,633,000	4.22
2	日本	株式	村田製作所	電気機器	98,500	6,258	616,441,345	6,316	622,126,000	2.65
3	日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	215,400	2,510	540,560,858	2,516	541,838,700	2.31
4	日本	株式	日本マクドナルドホールディングス	小売業	88,400	6,057	535,479,760	5,820	514,488,000	2.19
5	日本	株式	MonotaRO	小売業	114,000	3,830	436,646,458	4,320	492,480,000	2.10
6	日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	127,900	3,597	459,994,643	3,682	470,927,800	2.01
7	日本	株式	ソニー	電気機器	63,700	7,565	481,915,067	7,384	470,360,800	2.00
8	日本	株式	ダイキン工業	機械	26,800	16,588	444,549,926	17,335	464,578,000	1.98
9	日本	株式	信越化学工業	化学	36,800	12,599	463,660,414	12,595	463,496,000	1.97
10	日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	79,300	4,713	373,750,464	5,450	432,185,000	1.84
11	日本	株式	日本電産	電気機器	57,700	6,970	402,159,589	7,196	415,209,200	1.77
12	日本	株式	イーブックイニシアティブジャパン	情報・通信業	133,900	2,384	319,189,299	3,095	414,420,500	1.77
13	日本	株式	アルフレッサホールディングス	卸売業	181,700	2,184	396,886,903	2,251	409,006,700	1.74
14	日本	株式	ファナック	電気機器	19,600	19,720	386,517,717	19,260	377,496,000	1.61
15	日本	株式	アサヒグループホールディングス	食料品	91,900	3,816	350,648,944	3,776	347,014,400	1.48
16	日本	株式	ディスコ	機械	12,100	25,102	303,729,913	26,090	315,689,000	1.34
17	日本	株式	富士通	電気機器	24,900	12,016	299,199,648	12,620	314,238,000	1.34
18	日本	株式	SUMCO	金属製品	185,200	1,687	312,397,999	1,649	305,394,800	1.30
19	日本	株式	花王	化学	34,400	8,462	291,093,245	8,540	293,776,000	1.25
20	日本	株式	オムロン	電気機器	40,400	7,073	285,741,428	7,220	291,688,000	1.24
21	日本	株式	パナソニック	電気機器	298,600	960	286,644,029	940	280,564,560	1.20
22	日本	株式	T&Dホールディングス	保険業	298,100	900	268,199,451	921	274,550,100	1.17
23	日本	株式	アドバンテスト	電気機器	44,100	5,859	258,384,028	6,120	269,892,000	1.15
24	日本	株式	ヤマトホールディングス	陸運業	111,500	2,452	273,349,601	2,330	259,795,000	1.11
25	日本	株式	中外製薬	医薬品	45,000	5,391	242,608,026	5,765	259,425,000	1.11
26	日本	株式	KDDI	情報・通信業	75,800	3,158	239,401,363	3,234	245,137,200	1.04
27	日本	株式	セブン&アイホールディングス	小売業	67,100	3,467	232,603,945	3,520	236,192,000	1.01
28	日本	株式	東日本旅客鉄道	陸運業	31,400	8,567	269,007,558	7,474	234,683,600	1.00
29	日本	株式	電源開発	電気・ガス業	114,300	2,016	230,392,172	2,045	233,743,500	1.00
30	日本	株式	長谷工コーポレーション	建設業	171,900	1,337	229,825,143	1,358	233,440,200	0.99

種類別及び業種別の投資比率

種類	業種	投資比率(%)	
株式	電気機器	18.29	
	小売業	12.58	
	情報・通信業	10.05	
	化学	5.75	
	卸売業	5.68	
	建設業	4.82	
	輸送用機器	4.61	
	機械	4.37	
	食料品	4.06	
	サービス業	3.14	
	陸運業	2.56	
	医薬品	2.49	
	保険業	2.08	
	非鉄金属	2.01	
	電気・ガス業	1.43	
	金属製品	1.30	
	不動産業	1.26	
	銀行業	1.12	
	ガラス・土石製品	1.12	
	精密機器	0.70	
	鉄鋼	0.65	
	証券、商品先物取引業	0.52	
	ゴム製品	0.52	
	その他製品	0.17	
		小計	91.27
	合計		91.27

【投資不動産物件】

該当事項はございません。

【その他投資資産の主要なもの】

名称	取引所	種類	買建/ 売建	通貨	数量	簿価	評価額 (時価)	投資比 率(%)
TOPIX先物(2020年9月限)	大阪取引所	株価指数先物取引	買建	円	1,320,000	2,107,567,600	2,057,220,000	8.76

株価指数先物取引の評価にあたっては、取引所の発表する清算値段等を用いています。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

2020年6月末日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記決算期末の純資産の推移は次のとおりです。

計算期間	年月日	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末	(2017年5月10日)	14,196	14,196	1.0357	1.0357
第2計算期間末	(2017年11月10日)	12,548	12,548	1.2123	1.2123
第3計算期間末	(2018年5月10日)	30,209	30,209	1.2455	1.2455
第4計算期間末	(2018年11月12日)	31,870	31,870	1.1394	1.1394
第5計算期間末	(2019年5月10日)	28,921	28,921	1.0331	1.0331
第6計算期間末	(2019年11月11日)	29,652	29,652	1.1531	1.1531
第7計算期間末	(2020年5月11日)	22,608	22,608	0.9854	0.9854
	2019年6月末日	29,025	-	1.0408	-
	7月末日	28,655	-	1.0458	-
	8月末日	27,201	-	1.0001	-
	9月末日	28,431	-	1.0650	-
	10月末日	29,436	-	1.1269	-
	11月末日	28,838	-	1.1463	-
	12月末日	27,719	-	1.1624	-
	2020年1月末日	26,360	-	1.1344	-
	2月末日	22,824	-	0.9971	-
	3月末日	21,577	-	0.9410	-
	4月末日	22,286	-	0.9716	-
	5月末日	23,745	-	1.0313	-
	6月末日	23,476	-	1.0351	-

（注）純資産総額は、百万円未満を切り捨てた額を記載しております。

【分配の推移】

計算期間	1口当たり分配金(円)
第1期	0.0000
第2期	0.0000
第3期	0.0000
第4期	0.0000
第5期	0.0000
第6期	0.0000
第7期	0.0000

【収益率の推移】

計算期間	収益率(%)
第1期	3.6
第2期	17.1
第3期	2.7
第4期	8.5
第5期	9.3
第6期	11.6
第7期	14.5

(4) 【設定及び解約の実績】

計算期間	設定口数	解約口数	発行済口数
第1期	14,388,497,131	680,797,887	13,707,699,244
第2期	6,025,628,962	9,382,243,841	10,351,084,365
第3期	18,847,853,872	4,943,297,410	24,255,640,827
第4期	8,290,292,392	4,574,972,960	27,970,960,259
第5期	2,149,939,960	2,125,127,600	27,995,772,619
第6期	1,397,315,997	3,677,094,157	25,715,994,459
第7期	1,197,230,127	3,968,821,345	22,944,403,241

(注1) 本邦外における設定、解約の実績はありません。

(注2) 第1期の設定口数は、当初募集期間中の販売口数を含みます。

(参考情報)



基準価額・純資産の推移



※基準価額は、信託報酬等控除後のものです。

分配の推移

決算期	分配金
第3期(2018年5月10日)	0円
第4期(2018年11月12日)	0円
第5期(2019年5月10日)	0円
第6期(2019年11月11日)	0円
第7期(2020年5月11日)	0円
設定来累計	0円

※分配金は、1万口当たり、税引き前の値を記載しています。

＜基準価額・純資産総額＞

基準価額	10,351円
純資産総額	23,476百万円

主要な資産の状況

◆ポートフォリオの状況

資産の種類	比率(%)
株式	91.3
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	8.7
株式先物取引(買建)	8.8

◆株式先物取引上位銘柄の建玉比率

	銘柄名	比率(%)
1	TOPIX先物(2020年9月限)	8.8
2	--	--
3	--	--

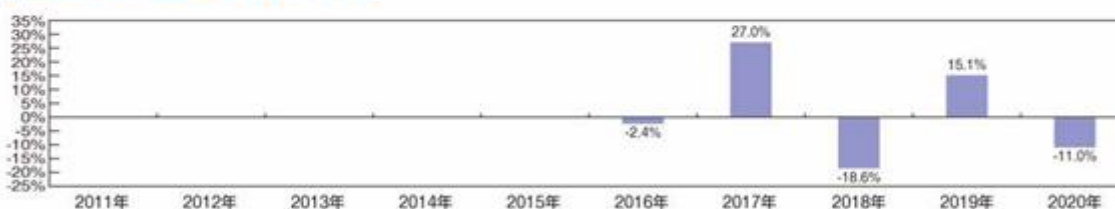
※比率は、純資産総額に対する割合を記載しています。

※株式は、全て国内の株式となります。

◆株式組入上位10銘柄の組入比率

	銘柄名	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.2
2	村田製作所	電気機器	2.7
3	日本電信電話	情報・通信業	2.3
4	日本マクドナルドホールディングス	小売業	2.2
5	MonotaRO	小売業	2.1
6	リクルートホールディングス	サービス業	2.0
7	ソニー	電気機器	2.0
8	ダイキン工業	機械	2.0
9	信越化学工業	化学	2.0
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.8

年間収益率の推移



※当ファンドにベンチマークはありません。

※2016年は設定日(2016年12月20日)から年末までの騰落率、2020年は2020年6月末日までの騰落率を記載しています。

※騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示している場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」につきまして、以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

Yjamプラス!

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則（平成12年総理府令第133号）」に基づいて作成しております。

なお、財務諸表の記載金額は、円単位で表示しております。

2. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第7期計算期間（自令和元年11月12日 至令和2年5月11日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

1【財務諸表】

【Yjamプラス！】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第6期 (令和元年11月11日現在)	第7期 (令和2年5月11日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	2,758,870,531	1,700,233,408
株式	26,632,527,370	20,598,850,310
派生商品評価勘定	213,546,130	165,164,350
未収入金	2,494,260,827	-
未収配当金	292,400,570	298,522,250
差入委託証拠金	76,320,000	105,105,000
流動資産合計	32,467,925,428	22,867,875,318
資産合計	32,467,925,428	22,867,875,318
負債の部		
流動負債		
前受金	226,370,000	123,773,000
未払金	2,170,141,465	-
未払解約金	270,091,064	5,534,787
未払受託者報酬	7,821,541	6,867,861
未払委託者報酬	136,094,708	119,500,565
未払利息	5,380	1,398
その他未払費用	4,694,295	3,711,048
流動負債合計	2,815,218,453	259,388,659
負債合計	2,815,218,453	259,388,659
純資産の部		
元本等		
元本	25,715,994,459	22,944,403,241
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,936,712,516	335,916,582
元本等合計	29,652,706,975	22,608,486,659
純資産合計	29,652,706,975	22,608,486,659
負債純資産合計	32,467,925,428	22,867,875,318

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第 6 期 (自 令和元年 5 月 11 日 至 令和元年 11 月 11 日)	第 7 期 (自 令和元年 11 月 12 日 至 令和 2 年 5 月 11 日)
営業収益		
受取配当金	362,991,706	336,952,900
受取利息	3,628	4,122
有価証券売買等損益	2,638,524,677	3,767,356,066
派生商品取引等損益	334,987,490	269,887,000
その他収益	423,454	85,152
営業収益合計	3,336,930,955	3,700,200,892
営業費用		
支払利息	606,181	401,555
受託者報酬	7,821,541	6,867,861
委託者報酬	136,094,708	119,500,565
その他費用	4,694,295	3,711,048
営業費用合計	149,216,725	130,481,029
営業利益又は営業損失（ ）	3,187,714,230	3,830,681,921
経常利益又は経常損失（ ）	3,187,714,230	3,830,681,921
当期純利益又は当期純損失（ ）	3,187,714,230	3,830,681,921
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	116,485,805	104,631,333
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	925,442,981	3,936,712,516
剰余金増加額又は欠損金減少額	61,786,577	59,938,245
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	61,786,577	59,938,245
剰余金減少額又は欠損金増加額	121,745,467	606,516,755
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	121,745,467	606,516,755
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,936,712,516	335,916,582

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>株価指数先物取引</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、計算期間末日の金融商品取引所の発表する清算値段等によっております。</p> <p>当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該先物取引に係るものであります。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>(1) 受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を、未だ確定していない場合は予想配当金額を計上しております。</p> <p>(2) 有価証券売買等損益の計上基準</p> <p>約定日基準で計上しております。</p> <p>(3) 派生商品取引等損益の計上基準</p> <p>約定日基準で計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>ファンドの計算期間</p> <p>当ファンドの計算期間は原則として、毎年5月11日から11月10日まで、11月11日から翌年5月10日までとしておりますが、第7期計算期間は、前計算期間末日及び当計算期間末日が休業日のため、令和元年11月12日から令和2年5月11日までとなっております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	第6期 (令和元年11月11日現在)	第7期 (令和2年5月11日現在)
1. 当該計算期間末日における受益権の総数	25,715,994,459口	22,944,403,241口
2. 「投資信託財産の計算に関する規則（平成12年総理府令第133号）」第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 -円	元本の欠損 335,916,582円
3. 1口当たり純資産額 (10,000口当たり純資産額)	1.1531円 (11,531円)	0.9854円 (9,854円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第6期 （自 令和元年 5月11日 至 令和元年11月11日）	第7期 （自 令和元年11月12日 至 令和 2年 5月11日）
1．分配金の計算過程	<p>計算期間末における費用控除後の配当等収益（334,645,557円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（-円）、収益調整金（4,192,630,368円）及び分配準備積立金（1,574,855,157円）より、分配対象収益は6,102,131,082円（10,000口当たり2,372.87円）ですが、基準価額の水準や市場動向等を勘案して分配はしておりません。</p>	<p>計算期間末における費用控除後の配当等収益（203,004,543円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（-円）、収益調整金（3,828,118,895円）及び分配準備積立金（1,618,918,092円）より、分配対象収益は5,650,041,530円（10,000口当たり2,462.47円）ですが、基準価額の水準や市場動向等を勘案して分配はしておりません。</p>
2．剰余金増加額・減少額及び欠損金減少額・増加額	<p>「当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額」及び「当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額」はそれぞれ剰余金減少額と増加額との純額を表示しております。</p>	<p>「当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額」及び「当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額」はそれぞれ剰余金減少額と増加額との純額を表示しております。</p>

（金融商品に関する注記）

．金融商品の状況に関する事項

項目	第6期 （自 令和元年 5月11日 至 令和元年11月11日）	第7期 （自 令和元年11月12日 至 令和 2年 5月11日）
1．金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p>	<p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p>
2．金融商品の内容及びそのリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。また当ファンドが保有する有価証券は株式であります。</p> <p>これらの金融商品は、株価変動リスク、信用リスク、並びに流動性リスク等に晒されております。</p> <p>なお、当ファンドは、中長期的な信託財産の成長を目標として株価指数先物取引を行っております。</p> <p>当該株価指数先物取引に係る主要なリスクは、株価の変動による価格変動リスク等でありませ</p>	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。また当ファンドが保有する有価証券は株式であります。</p> <p>これらの金融商品は、株価変動リスク、信用リスク、並びに流動性リスク等に晒されております。</p> <p>なお、当ファンドは、中長期的な信託財産の成長を目標として株価指数先物取引を行っております。</p> <p>当該株価指数先物取引に係る主要なリスクは、株価の変動による価格変動リスク等でありませ</p>
3．金融商品に係るリスク管理体制	<p>運用業務に関する社内規程及びマニュアルに従い、運用部門責任者及びファンド・マネージャーが常時モニターし、協議、点検を行っております。管理部門においては、日々運用状況のモニタリングを行っており、投資運用方針・運用計画と投資行動の整合性、法令及び信託約款、運用ガイドライン等の遵守状況等を確認しております。リーガル・コンプライアンス部門は、リスク管理統括部署として、管理部門からのモニタリング結果の報告等を通して日々運用状況の点検を行うとともに、管理部門が行うモニタリングの適切性等の確認を行っております。これらの結果は代表取締役、運用部門責任者、リーガル・コンプライアンス部門責任者等で構成される月次の運用委員会に報告されており、同委員会においても運用状況の点検が行われております。</p>	<p>運用業務に関する社内規程及びマニュアルに従い、運用部門責任者及びファンド・マネージャーが常時モニターし、協議、点検を行っております。管理部門においては、日々運用状況のモニタリングを行っており、投資運用方針・運用計画と投資行動の整合性、法令及び信託約款、運用ガイドライン等の遵守状況等を確認しております。リーガル・コンプライアンス部門は、リスク管理統括部署として、管理部門からのモニタリング結果の報告等を通して日々運用状況の点検を行うとともに、管理部門が行うモニタリングの適切性等の確認を行っております。これらの結果は代表取締役、運用部門責任者、リーガル・コンプライアンス部門責任者等で構成される月次の運用委員会に報告されており、同委員会においても運用状況の点検が行われております。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

第6期 (令和元年11月11日現在)	第7期 (令和2年5月11日現在)
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 貸借対照表上の金融商品については、原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 貸借対照表上の金融商品については、原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
<p>2. 時価の算定方法 (1) 株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 (デリバティブ取引等に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。</p>	<p>2. 時価の算定方法 (1) 株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 (デリバティブ取引等に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。</p>
<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引の契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>	<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引の契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>
<p>4. 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権は全て1年以内に償還予定であります。</p>	<p>4. 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権は全て1年以内に償還予定であります。</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第6期 (令和元年11月11日現在)	第7期 (令和2年5月11日現在)
	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
株式	2,437,506,728	480,283,756
合計	2,437,506,728	480,283,756

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

区分	種類	第6期 (令和元年11月11日現在)			
		契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	2,422,228,870	-	2,635,775,000	213,546,130
	合計	2,422,228,870	-	2,635,775,000	213,546,130

（注）1．時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、計算期間末日の金融商品取引所の発表する清算値段等で評価しております。

- 2．株価指数先物取引の残高表示は、契約額によっております。
- 3．ヘッジ会計が適用されているものはありません。

区分	種類	第7期 (令和2年5月11日現在)			
		契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	1,957,670,650	-	2,122,835,000	165,164,350
	合計	1,957,670,650	-	2,122,835,000	165,164,350

（注）1．時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、計算期間末日の金融商品取引所の発表する清算値段等で評価しております。

- 2．株価指数先物取引の残高表示は、契約額によっております。
- 3．ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の変動

第6期 (自 令和元年 5月11日 至 令和元年11月11日)		第7期 (自 令和元年11月12日 至 令和 2年 5月11日)	
期首元本額	27,995,772,619円	期首元本額	25,715,994,459円
期中追加設定元本額	1,397,315,997円	期中追加設定元本額	1,197,230,127円
期中一部解約元本額	3,677,094,157円	期中一部解約元本額	3,968,821,345円

（４）【附属明細表】

第１．有価証券明細表

株式

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価（円）	金額（円）	
石油資源開発	68,400	1,898.00	129,823,200	
大成建設	68,600	3,535.00	242,501,000	
大林組	90,800	952.00	86,441,600	
松井建設	14,900	667.00	9,938,300	
熊谷組	8,900	2,538.00	22,588,200	
矢作建設工業	49,600	805.00	39,928,000	
若築建設	8,800	1,205.00	10,604,000	
三機工業	19,400	1,323.00	25,666,200	
日東富士製粉	1,000	5,890.00	5,890,000	
フィード・ワン	158,100	185.00	29,248,500	
日本ハム	19,900	3,770.00	75,023,000	
S Foods	70,200	2,400.00	168,480,000	
アサヒグループホールディングス	154,700	3,813.00	589,871,100	
宝ホールディングス	223,000	823.00	183,529,000	
サントリー食品インターナショナル	48,700	4,285.00	208,679,500	
東レ	77,900	509.50	39,690,050	
日本製紙	15,800	1,575.00	24,885,000	
北越コーポレーション	182,400	431.00	78,614,400	
クラレ	352,700	1,113.00	392,555,100	
旭化成	62,000	766.60	47,529,200	
日産化学	25,400	4,045.00	102,743,000	
東ソー	67,900	1,345.00	91,325,500	
東亜合成	95,000	1,003.00	95,285,000	
アイカ工業	8,000	3,020.00	24,160,000	
花王	33,900	8,450.00	286,455,000	
三洋化成工業	10,000	4,380.00	43,800,000	
D I C	132,500	2,509.00	332,442,500	
サカタインクス	57,600	993.00	57,196,800	
コタ	13,600	1,199.00	16,306,400	
ノエビアホールディングス	51,200	5,030.00	257,536,000	
タカラバイオ	9,900	2,494.00	24,690,600	
日東電工	1,700	5,420.00	9,214,000	
バルカー	61,300	1,867.00	114,447,100	
アステラス製薬	363,500	1,805.00	656,117,500	
塩野義製薬	67,600	5,636.00	380,993,600	
日本新薬	12,600	7,090.00	89,334,000	
エーザイ	38,500	7,440.00	286,440,000	
J C Rファーマ	8,800	10,720.00	94,336,000	
ビービー・カストロール	12,000	1,177.00	14,124,000	
ブリヂストン	86,700	3,422.00	296,687,400	
住友ゴム工業	108,700	1,054.00	114,569,800	
三ツ星ベルト	80,800	1,502.00	121,361,600	
バンドー化学	34,000	658.00	22,372,000	
日本電気硝子	91,700	1,622.00	148,737,400	
アジアパイルホールディングス	38,100	434.00	16,535,400	
日本カーボン	3,000	3,410.00	10,230,000	
日本碍子	88,700	1,430.00	126,841,000	
共英製鋼	48,700	1,417.00	69,007,900	
大和工業	88,900	2,172.00	193,090,800	
大阪製鐵	8,700	1,237.00	10,761,900	

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価(円)	金額(円)	
大平洋金属	11,300	1,654.00	18,690,200	
大紀アルミニウム工業所	68,800	590.00	40,592,000	
日本軽金属ホールディングス	1,425,400	174.00	248,019,600	
アサヒホールディングス	51,800	2,638.00	136,648,400	
R S Technologies	9,100	2,917.00	26,544,700	
東プレ	19,000	1,334.00	25,346,000	
アマダ	199,900	981.00	196,101,900	
オーエスジー	94,900	1,462.00	138,743,800	
サトーホールディングス	6,800	2,300.00	15,640,000	
住友重機械工業	46,700	2,322.00	108,437,400	
クボタ	244,500	1,365.00	333,742,500	
荏原製作所	28,000	2,431.00	68,068,000	
キトー	12,600	1,124.00	14,162,400	
大和冷機工業	15,800	970.00	15,326,000	
T P R	26,300	1,307.00	34,374,100	
三菱重工業	43,300	2,742.50	118,750,250	
コニカミノルタ	170,100	406.00	69,060,600	
マブチモーター	42,600	3,275.00	139,515,000	
日新電機	5,900	1,095.00	6,460,500	
アイホン	10,500	1,593.00	16,726,500	
アルバック	53,100	3,005.00	159,565,500	
アルプスアルパイン	12,600	1,263.00	15,913,800	
日本航空電子工業	10,800	1,494.00	16,135,200	
スミダコーポレーション	107,900	714.00	77,040,600	
アズビル	42,000	2,836.00	119,112,000	
キーエンス	8,600	39,990.00	343,914,000	
O B A R A GROUP	41,300	2,940.00	121,422,000	
ウシオ電機	100,500	1,159.00	116,479,500	
日本セラミック	53,600	2,032.00	108,915,200	
村田製作所	43,100	6,051.00	260,798,100	
キヤノン	141,300	2,253.00	318,348,900	
東京エレクトロン	6,200	22,720.00	140,864,000	
いすゞ自動車	207,500	894.30	185,567,250	
トヨタ自動車	97,100	6,658.00	646,491,800	
プレス工業	40,600	259.00	10,515,400	
S U B A R U	48,200	2,220.50	107,028,100	
ヤマハ発動機	93,500	1,442.00	134,827,000	
エクセディ	12,100	1,693.00	20,485,300	
テルモ	7,200	3,511.00	25,279,200	
ブイ・テクノロジー	16,600	4,215.00	69,969,000	
朝日インテック	32,600	2,797.00	91,182,200	
アートネイチャー	149,900	693.00	103,880,700	
プロネクス	5,900	1,114.00	6,572,600	
小松ウオール工業	7,100	1,884.00	13,376,400	
任天堂	5,100	43,640.00	222,564,000	
オカムラ	255,300	810.00	206,793,000	
北海道電力	146,900	419.00	61,551,100	
鴻池運輸	39,500	1,177.00	46,491,500	
ニッコンホールディングス	98,100	2,126.00	208,560,600	
キューソー流通システム	10,200	1,754.00	17,890,800	
システナ	26,000	1,604.00	41,704,000	
ティーガイア	8,500	2,208.00	18,768,000	
S R Aホールディングス	46,000	2,231.00	102,626,000	

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価（円）	金額（円）	
マークラインズ	106,300	1,787.00	189,958,100	
野村総合研究所	25,000	2,557.00	63,925,000	
フジ・メディア・ホールディングス	190,000	1,112.00	211,280,000	
オービック	6,000	16,870.00	101,220,000	
日本オラクル	4,300	12,030.00	51,729,000	
フューチャー	9,800	1,632.00	15,993,600	
オービックビジネスコンサルタント	18,600	5,050.00	93,930,000	
伊藤忠テクノソリューションズ	55,900	3,350.00	187,265,000	
兼松エレクトロニクス	10,800	3,770.00	40,716,000	
コネクシオ	24,400	1,555.00	37,942,000	
日本電信電話	327,300	2,419.50	791,902,350	
KDDI	149,400	3,158.00	471,805,200	
NTTドコモ	89,500	3,079.00	275,570,500	
DT S	5,400	2,168.00	11,707,200	
日本システムウエア	5,400	2,181.00	11,777,400	
NSD	44,300	1,617.00	71,633,100	
コナミホールディングス	24,800	3,500.00	86,800,000	
ソフトバンクグループ	76,500	4,685.00	358,402,500	
東京エレクトロン デバイス	87,000	2,840.00	247,080,000	
双日	373,600	250.00	93,400,000	
神戸物産	11,600	5,160.00	59,856,000	
あい ホールディングス	53,300	1,418.00	75,579,400	
三洋貿易	179,800	918.00	165,056,400	
ウイン・パートナーズ	13,200	917.00	12,104,400	
伯東	8,000	984.00	7,872,000	
萩原電気ホールディングス	8,200	2,197.00	18,015,400	
スズデン	4,200	1,199.00	5,035,800	
ドウシシャ	50,700	1,518.00	76,962,600	
進和	14,800	1,757.00	26,003,600	
シークス	143,800	975.00	140,205,000	
蝶理	5,200	1,729.00	8,990,800	
豊田通商	23,400	2,600.00	60,840,000	
三井物産	85,000	1,639.00	139,315,000	
キャノンマーケティングジャパン	43,700	2,147.00	93,823,900	
ユアサ商事	11,300	3,020.00	34,126,000	
フルサト工業	21,600	1,400.00	30,240,000	
稲畑産業	10,300	1,205.00	12,411,500	
加賀電子	58,100	2,054.00	119,337,400	
因幡電機産業	15,300	2,287.00	34,991,100	
東テク	7,400	2,200.00	16,280,000	
エディオン	20,100	976.00	19,617,600	
サーラコーポレーション	30,300	564.00	17,089,200	
ハローズ	2,700	2,890.00	7,803,000	
MonotaRO	74,900	3,670.00	274,883,000	
物語コーポレーション	13,100	7,720.00	101,132,000	
ウエルシアホールディングス	9,000	7,500.00	67,500,000	
セブン&アイ・ホールディングス	64,800	3,457.00	224,013,600	
クスリのアオキホールディングス	15,500	8,140.00	126,170,000	
スシローグローバルホールディングス	17,500	2,030.00	35,525,000	
良品計画	48,800	1,429.00	69,735,200	
スギホールディングス	70,100	6,270.00	439,527,000	
島忠	3,300	2,819.00	9,302,700	
エイチ・ツー・オー リテイリング	93,600	865.00	80,964,000	

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価（円）	金額（円）	
丸井グループ	67,800	1,822.00	123,531,600	
Genky DrugStores	32,400	2,425.00	78,570,000	
アークランドサカモト	30,900	1,094.00	33,804,600	
王将フードサービス	17,800	6,060.00	107,868,000	
ベルク	8,000	5,940.00	47,520,000	
ベルーナ	48,600	522.00	25,369,200	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	349,500	423.80	148,118,100	
三井住友フィナンシャルグループ	4,900	2,816.00	13,798,400	
みずほフィナンシャルグループ	696,700	123.30	85,903,110	
MS & ADインシュアランスグループホール	46,200	2,996.00	138,415,200	
東京海上ホールディングス	36,600	4,507.00	164,956,200	
T & Dホールディングス	275,100	909.00	250,065,900	
クレディセゾン	57,700	1,238.00	71,432,600	
三菱UFJリース	119,800	512.00	61,337,600	
日本駐車場開発	518,900	130.00	67,457,000	
パーク24	68,800	1,877.00	129,137,600	
タカラレーベン	285,200	368.00	104,953,600	
ビーネックスグループ	225,000	756.00	170,100,000	
GCA	116,400	690.00	80,316,000	
ツカダ・グローバルホールディング	40,900	361.00	14,764,900	
ワールドホールディングス	7,700	1,546.00	11,904,200	
電通グループ	56,100	2,358.00	132,283,800	
日本空調サービス	37,400	719.00	26,890,600	
リゾートトラスト	11,000	1,210.00	13,310,000	
アサンテ	27,200	1,562.00	42,486,400	
合計	14,006,500	-	20,598,850,310	

株式以外の有価証券
該当事項はありません。

第2．信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。

第3．デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
（デリバティブ取引等に関する注記）に記載したとおりであります。

第4．不動産等明細表
該当事項はありません。

第5．商品明細表
該当事項はありません。

第6．商品投資等取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

第7．再生可能エネルギー発電設備等明細表
該当事項はありません。

第8．公共施設等運営権等明細表
該当事項はありません。

第9．その他特定資産の明細表
該当事項はありません。

第10．借入金明細表
該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況」につきまして、以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

【純資産額計算書】

2020年6月30日現在

資産総額	23,599,768,779 円
負債総額	123,484,369 円
純資産総額（ - ）	23,476,284,410 円
発行済数量	22,679,619,321 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0351 円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<訂正前>

(1) 資本金の額

2019年12月末日現在の資本金の額は金95百万円です。なお、発行可能株式総数は100,000株であり、発行済株式総数は71,129株です。

最近5年間における資本金の増減は以下の通りです。

平成27年3月10日 資本金 95百万円に減資

(省略)

<訂正後>

(1) 資本金の額

2020年6月末日現在の資本金の額は金95百万円です。なお、発行可能株式総数は100,000株であり、発行済株式総数は71,129株です。

最近5年間における資本金の増減はありません。

(省略)

2【事業の内容及び営業の概況】

原届出書「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況」につきまして、以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であるアストマックス投信投資顧問株式会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっております。また、「金融商品取引法」に定める投資助言業務、第二種金融商品取引業務を行なっております。

委託会社の運用する証券投資信託は2020年6月末日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)。

種類	本数	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	65	244,870
単位型株式投資信託	19	33,878
追加型公社債投資信託		
単位型公社債投資信託	2	8,301
合計	86	287,050

3【委託会社等の経理状況】

原届出書「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」につきまして、以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

1．財務諸表の作成方法について

(1) 委託会社であるアストマックス投信投資顧問株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づき作成しております。

(2) 財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第18期事業年度（自 2019年4月1日至 2020年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

区分	前事業年度 (2019年3月31日現在)		当事業年度 (2020年3月31日現在)	
	金額		金額	
	千円	千円	千円	千円
(資産の部)				
流動資産				
1 現金・預金		571,417		247,640
2 前払費用		13,921		20,428
3 未収委託者報酬		346,960		255,503
4 未収運用受託報酬		8,693		13,036
5 未収収益		-		18,245
6 金銭の信託		1,000		1,000
7 未収還付法人税		-		38,065
8 その他		9,757		9,050
流動資産合計		951,750		602,970
固定資産				
1 有形固定資産		7,976		87,414
(1) 建物 *1	3,230		55,738	
(2) 器具備品 *1	4,745		31,676	
2 無形固定資産		12,800		13,302
(1) ソフトウェア	12,800		13,302	
3 投資その他の資産		149,813		177,647
(1) 投資有価証券	129,226		129,503	
(2) 出資金	173		173	
(3) 繰延税金資産	18,747		-	
(4) 長期差入保証金	-		46,855	
(5) その他	1,665		1,116	
固定資産合計		170,590		278,365
資産合計		1,122,341		881,336
(負債の部)				
流動負債				
1 預り金		13,032		11,681
2 未払金		126,375		96,161
(1) 未払手数料	108,251		81,124	
(2) その他未払金	18,124		15,037	
3 関係会社未払金		4,086		12,432
4 未払費用		100,624		89,996
5 未払法人税等		63,745		1,624
6 未払消費税等		5,720		-
7 賞与引当金		30,012		24,499
8 前受金		81		-
流動負債合計		343,679		236,396
固定負債				
1 繰延税金負債		-		7,513
2 資産除去債務		-		23,648
3 その他		4,060		2,371
固定負債合計		4,060		33,534
負債合計		347,739		269,930
(純資産の部)				
株主資本				
1 資本金		95,000		95,000
2 資本剰余金				
(1) 資本準備金	253,212		253,212	
(2) その他資本剰余金	57,136		57,136	
資本剰余金計		310,348		310,348
3 利益剰余金				
(1) その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	368,785		208,557	
利益剰余金計		368,785		208,557
株主資本合計		774,133		613,906
評価・換算差額等				

(1) 其他有価証券評価差額金 評価・換算差額等合計	468	468	2,500	2,500
純資産合計		774,601		611,405
負債・純資産合計		1,122,341		881,336

（２）【損益計算書】

区分	前事業年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日)		当事業年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日)	
	金額		金額	
	千円	千円	千円	千円
営業収益				
1 委託者報酬		1,801,966		1,539,414
2 運用受託報酬		91,211		62,467
3 その他営業収益		2,978		18,097
営業収益計		1,896,155		1,619,979
営業費用				
1 支払手数料		457,056		385,097
2 広告宣伝費		47,295		40,103
3 調査費		476,422		494,000
(1) 調査費	30,913		44,236	
(2) 委託調査費	445,508		449,763	
4 委託計算費		94,474		87,729
5 振替投信費		6,190		5,553
6 営業雑経費		14,096		13,691
(1) 通信費	4,403		6,492	
(2) 印刷費	4,320		2,334	
(3) 諸会費	2,780		2,966	
(4) その他	2,592		1,898	
営業費用計		1,095,535		1,026,176
一般管理費				
1 給与		324,394		347,416
(1) 役員報酬	46,688		50,188	
(2) 給与・手当	244,853		270,395	
(3) 賞与引当金繰入額	30,012		24,499	
(4) その他報酬給料	2,840		2,331	
2 事務委託費		167,980		86,815
3 交際費		987		869
4 旅費交通費		13,677		13,852
5 租税公課		722		908
6 不動産賃借料		27,586		45,683
7 退職給付費用		4,177		4,455
8 福利厚生費		39,004		45,160
9 固定資産減価償却費		5,121		10,526
10 諸経費		13,480		20,070
一般管理費計		597,132		575,758
営業利益		203,488		18,044
営業外収益				
1 受取配当金		192		491
2 投資有価証券償還益		257		1,036
3 業務受託収入		92		-
4 その他		176		191
営業外収益計		718		1,719
営業外費用				
1 為替差損		13		2
2 投資有価証券評価損		-		394
営業外費用計		13		397
経常利益		204,193		19,365
特別損失				
1 固定資産除却損	*1	0		3,306
2 移転費用		-		13,346
特別損失計		0		16,652
税引前当期純利益		204,193		2,713
法人税等				
1 法人税、住民税及び事業税	76,695		2,140	
2 法人税等調整額	6,862		26,509	

法人税等合計		69,833		28,649
当期純利益又は当期純損失（ ）		134,360		25,936

（ 3 ）【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	95,000	253,212	57,136	310,348	387,281	387,281
当期変動額						
剰余金の配当					152,856	152,856
当期純利益					134,360	134,360
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	18,495	18,495
当期末残高	95,000	253,212	57,136	310,348	368,785	368,785

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	792,629	972	972	793,602
当期変動額				
剰余金の配当	152,856			152,856
当期純利益	134,360			134,360
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)		504	504	504
当期変動額合計	18,495	504	504	19,000
当期末残高	774,133	468	468	774,601

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	95,000	253,212	57,136	310,348	368,785	368,785
当期変動額						
剰余金の配当					134,291	134,291
当期純損失					25,936	25,936
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	160,227	160,227
当期末残高	95,000	253,212	57,136	310,348	208,557	208,557

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	774,133	468	468	774,601
当期変動額				
剰余金の配当	134,291			134,291
当期純損失	25,936			25,936
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		2,968	2,968	2,968
当期変動額合計	160,227	2,968	2,968	163,196
当期末残高	613,906	2,500	2,500	611,405

注記事項**（重要な会計方針）**

1 有価証券の評価基準及び評価方法	その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。 時価のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法によっております。 ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は、建物3～15年、器具備品3～15年です。 (2) 無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
3 引当金の計上基準	賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。
4 消費税等の会計処理方法	消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

（未適用の会計基準等）**（1）収益認識に関する会計基準等**

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）

概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

（2）時価の算定に関する会計基準等

- ・「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日）
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日）
- ・「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）

概要

国際的な会計基準の定めとの比較可能性を向上させるため、「時価の算定に関する会計基準」及び「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（以下、「時価算定会計基準等」という。）が開発され、時価の算定方法に関するガイダンス等が定められました。時価算定会計基準等は次の項目の時価に適用されます。

- ・「金融商品に関する会計基準」における金融商品

適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による計算書類に与える影響額については、現時点で評価中であります。

（貸借対照表関係）

前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)
*1 有形固定資産の減価償却累計額は、25,684千円であります。	*1 有形固定資産の減価償却累計額は、16,513千円であります。

（損益計算書関係）

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
*1 固定資産除却損の内訳 器具備品 0千円	*1 固定資産除却損の内訳 建物 2,883千円 器具備品 422千円

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	71,129	-	-	71,129
合計	71,129	-	-	71,129

2．配当金に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2018年6月21日 定例株主総会	普通株式	152	2,149	2018年3月31日	2018年6月21日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月20日 定例株主総会	普通株式	利益剰余金	134	1,888	2019年3月31日	2019年6月20日

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	71,129	-	-	71,129
合計	71,129	-	-	71,129

2．配当金に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月20日 定例株主総会	普通株式	134	1,888	2019年3月31日	2019年6月20日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

1．金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、短期的な運転資金確保の観点から、資金運用については短期的な預金等に限定しております。前事業年度及び当事業年度において金融機関からの借入及び社債発行等による資金の調達はありません。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬は、投資運用業等からの債権であり、信用リスクに晒されておりますが、会社で定められた手続に従い管理しておりますので投資運用業者等の性格上そのリスクは軽微であると考えております。

営業債権である未収運用受託報酬は、投資助言業等からの債権であり、信用リスクに晒されておりますが、会社で定められた手続に従い管理しておりますので投資運用業者等の性格上そのリスクは軽微であると考えております。

営業債務である未払金、未払手数料、未払費用は、投資運用業等の債務であり、会社で定められた手続に従い管理しております。

（3）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2．金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。（（注）2を参照ください。）

前事業年度（2019年3月31日現在）

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	571,417	571,417	-
(2) 未収委託者報酬	346,960	346,960	-
(3) 未収運用受託報酬	8,693	8,693	-
(4) 投資有価証券	129,195	129,195	-
資産計	1,056,267	1,056,267	-
(1) 未払手数料	108,251	108,251	-
(2) その他未払金	18,124	18,124	-
(3) 関係会社未払金	4,086	4,086	-
(4) 未払費用	100,624	100,624	-
(5) 未払法人税等	63,745	63,745	-
負債計	294,832	294,832	-

（注）1．金融商品の時価の算定方法に関する事項は、次のとおりであります。

資産

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

これらは投資信託であり、時価は基準価額によっております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、（有価証券関係）に記載しております。

負債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、(3) 関係会社未払金、(4) 未払費用、(5) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

当事業年度（2020年3月31日現在）

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	247,640	247,640	-
(2) 未収委託者報酬	255,503	255,503	-
(3) 未収運用受託報酬	13,036	13,036	-
(4) 未収還付法人税等	38,065	38,065	-
(5) 投資有価証券	129,476	129,476	-
(6) 長期差入保証金	46,855	45,021	1,833
資産計	730,578	728,745	1,833
(1) 未払手数料	81,124	81,124	-
(2) その他未払金	15,037	15,037	-
(3) 関係会社未払金	12,432	12,432	-
(4) 未払費用	89,996	89,996	-
(5) 未払法人税等	1,624	1,624	-
負債計	200,214	200,214	-

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項は、次のとおりであります。

資産

- (1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬、(4) 未収還付法人税等
これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
- (5) 投資有価証券
これらは投資信託であり、時価は基準価額によっております。
- (6) 長期差入保証金
長期差入保証金の時価は、返還時期を見積もったうえ、将来キャッシュフローを国債の利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

負債

- (1) 未払手数料、(2) その他未払金、(3) 関係会社未払金、(4) 未払費用、(5) 未払法人税等
これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注) 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)
匿名組合出資金(注1)	30	26
出資金(注1)	173	173

(注1) 上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから上表には含めておりません。

(注) 3. 金銭債権の決算日後の償還予定額

前事業年度（2019年3月31日現在）

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超 (千円)
現金・預金	571,417	-	-
未収委託者報酬	346,960	-	-
未収運用受託報酬	8,693	-	-

当事業年度（2020年3月31日現在）

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超 (千円)
現金・預金	247,640	-	-
未収委託者報酬	255,503	-	-
未収運用受託報酬	13,036	-	-
未収還付法人税等	38,065	-	-
長期差入保証金	-	-	46,855

(注) 4. 金銭債務の決算日後の返済予定額
前事業年度(2019年3月31日現在)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超 (千円)
未払手数料	108,251	-	-
その他未払金	18,124	-	-
関係会社未払金	4,086	-	-
未払費用	100,624	-	-
未払法人税等	63,745	-	-

当事業年度(2020年3月31日現在)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超 (千円)
未払手数料	81,124	-	-
その他未払金	15,037	-	-
関係会社未払金	12,432	-	-
未払費用	89,996	-	-
未払法人税等	1,624	-	-

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前事業年度(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの(注)	17,288	13,500	3,788
小計	17,288	13,500	3,788
貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの(注)	111,907	114,980	3,072
小計	111,907	114,980	3,072
合計	129,195	128,480	715

(注)取得原価の内訳

投資信託受益証券 128,480千円

当事業年度(2020年3月31日現在)

(単位:千円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの(注)	18,471	15,000	3,471
小計	18,471	15,000	3,471
貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの(注)	111,004	116,977	5,972
小計	111,004	116,977	5,972
合計	129,476	131,977	2,500

(注1)取得原価の内訳

投資信託受益証券 131,977千円

(注2)当事業年度において、投資信託受益証券について503千円の減損処理を行っております。

減損処理にあたっては時価が取得原価に比べ50%程度以上下落しているものについては、合理的な反証が無い限り、時価が取得原価まで回復する見込みの無い著しい下落とみなし、減損処理を行っております。

2. 償還したその他有価証券

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

種類	償還額	償還益の合計額	償還損の合計額
投資信託受益証券	15,757	1,891	1,633
合計	15,757	1,891	1,633

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

種類	償還額	償還益の合計額	償還損の合計額
投資信託受益証券	7,536	1,479	443
合計	7,536	1,479	443

（デリバティブ取引関係）

当社はデリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社では、確定拠出年金制度を採用しております。

2. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）4,177千円、当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）4,455千円であります。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
（繰延税金資産）		
賞与引当金	10,381	8,474
未払事業税	6,673	-
未払法定福利費	1,574	1,329
未払退職金	1,404	820
投資有価証券評価損	179	353
繰越欠損金	-	10,919
資産除去債務	-	8,180
繰延資産償却費	-	1,024
その他	378	115
繰延税金資産小計	20,591	31,218
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額（注2）	-	10,919
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	1,596	16,288
評価性引当額 小計（注1）	1,596	27,207
繰延税金資産合計	18,995	4,010
（繰延税金負債）		
資産除去債務に対応する除去費用	-	8,041
未収還付事業税	-	3,464
その他有価証券評価差額金	247	-
その他	-	17
繰延税金負債合計	247	11,523
繰延税金資産（負債）の純額	18,747	7,513

（注1）評価性引当額が25,611千円増加しております。この増加の主な要因は、資産除去債務に係る評価性引当額を8,180千円、税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額を10,919千円追加的に認識したことに伴うものであります。

（注2）税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰延期限別の金額
前事業年度（2019年3月31日）
該当事項はありません。

当事業年度（2020年3月31日）

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	合計
税務上の繰越 欠損金(1)	-	-	-	-	-	10,919	10,919
評価性引当額	-	-	-	-	-	10,919	10,919
繰延税金資産	-	-	-	-	-	-	-

(1)税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
法定実効税率 (調整)	法定実効税率と税効果会 計適用後の法人税等の負 担率との差異が法定実効 税率の100分の5以下で あるため、記載を省略し ております。	34.59%
住民税均等割額		77.36%
評価性引当額の増減額		943.94%
その他		0.01%
税効果会計適用後の法人税等の負担率		1055.91%

(資産除去債務関係)

資産除去債務のうち連結貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

不動産賃借契約に基づく本社オフィスの退去時における原状回復費

2. 当該資産除去債務の金額の算定法

使用見込期間を主として取得から15年と見積り、使用見込期間に対応した割引率として国債の利回りを使用して資産除去債務金額を計算しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

	前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)
期首残高	-千円	-千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	-千円	23,642千円
時の経過による調整額	-千円	5千円
その他増減額	-千円	-千円
期末残高	-千円	23,648千円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、アセット・マネジメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の製品・サービス区分は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン諸島	その他	合計
1,836,940	13,996	45,219	1,896,155

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

当社は、本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

委託者報酬については、一部営業収益の10%以上を占める投資信託があるものの、公募投資信託であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者は不特定多数のため、記載を省略しております。運用受託報酬・その他営業収益については、営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客がないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の製品・サービス区分は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン諸島	その他	合計
1,588,504	11,709	19,765	1,619,979

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

当社は、本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

委託者報酬については、一部営業収益の10%以上を占める投資信託があるものの、公募投資信託であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者は不特定多数のため、記載を省略しております。運用受託報酬・その他営業収益については、営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客がないため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び法人主要株主（会社等に限る。）等

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	アストマックス株式会社	東京都品川区	2,013	持株会社	(被所有) 直接 66.6	役員の兼務、 業務委託	業務委託料 (注1)	147,154	-	-

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 業務委託料については、委託業務の内容を勘案し、両社協議の上決定しております。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
その他の 関係会社	アストマックス 株式会社	東京都 品川区	2,013	持株会社	(被所有) 直接 49.9	役員の兼務、 業務委託	業務委託料 (注1)	62,790	-	-

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 業務委託料については、委託業務の内容を勘案し、両社協議の上決定しております。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

該当事項はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
財務諸表提出 会社のその他 の関係会社の 子会社	株式会社 Magne-Max Capital Management	大阪府 大阪市	95	投資助言業	-	役員の兼務、 投資顧問契約の 締結	投資顧問料 (注1)	142,258	未払費用	34,819

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資顧問料については、投資顧問契約の内容を勘案し、両社協議の上決定しております。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
財務諸表作成 会社と同一の 親会社をもつ 会社	株式会社 Magne-Max Capital Management	大阪府 大阪市	95	投資助言業	-	役員の兼務、 投資顧問契約の 締結	投資顧問料 (注1)	114,595	未払費用	28,785

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資顧問料については、投資顧問契約の内容を勘案し、両社協議の上決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

ソフトバンクグループ株式会社（東京証券取引所に上場）

ソフトバンクグループジャパン株式会社（非上場）

Zホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

ヤフー株式会社（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前事業年度 （自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日）	当事業年度 （自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日）
1株当たり純資産額	10,890円10銭	8,595円73銭
1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額（ ）	1,888円97銭	364円64銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額（ ）	-	-
	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（注1）1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （2019年 3月31日現在）	当事業年度 （2020年 3月31日現在）
純資産の部の合計額	774,601千円	611,405千円
普通株式に係る期末の純資産額	774,601千円	611,405千円
普通株式の発行済株式数	71,129株	71,129株
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	71,129株	71,129株

（注2）1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日）	当事業年度 （自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日）
当期純利益金額又は当期純損失金額（ ）	134,360千円	25,936千円
普通株式に係る当期純利益金額又は当期純損失金額（ ）	134,360千円	25,936千円
普通株式の期中平均株式数	71,129株	71,129株

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5【その他】

<訂正前>

(1) 定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項

出資の状況について、令和元年10月1日付でヤフー株式会社（同日付で「紀尾井町分割準備株式会社」から商号変更）が委託会社の議決権の数の割合の50.1%（議決権の数は35,635）を保有することとなりました。

委託会社は、定款について令和2年1月14日付で下記の通り変更を行ないました。委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

・本店の所在地の変更を行うための変更

（省略）

<訂正後>

(1) 定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項

委託会社は、定款について令和2年6月12日付で下記の通り変更を行ないました。委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

・役付取締役の範囲を拡充するための変更

（省略）

第2【その他の関係法人の概況】

<訂正前>

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) みずほ信託銀行株式会社(「受託会社」)

資本金の額

2019年9月末日現在、247,369百万円

(省略)

<再信託受託会社の概要>

名称：資産管理サービス信託銀行株式会社

資本金の額：50,000百万円(2019年9月末日現在)

(省略)

(2) 販売会社

(資本金の額は2019年9月末日現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
株式会社福岡銀行	82,329	「銀行法」に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社熊本銀行	33,847	
株式会社親和銀行	36,878	
株式会社百五銀行	20,000	
株式会社伊予銀行	20,948	
株式会社大垣共立銀行	46,773	
株式会社北洋銀行	121,101	
株式会社静岡銀行	90,845	
株式会社千葉興業銀行	62,120	
株式会社常陽銀行	85,113	
株式会社百十四銀行	37,322	
株式会社群馬銀行	48,652	
株式会社イオン銀行	51,250	
株式会社武蔵野銀行	45,743	
株式会社京都銀行	42,103	
株式会社七十七銀行	24,658	
株式会社新生銀行	512,204	
株式会社ジャパネット銀行	37,250	
株式会社中国銀行	15,149	
株式会社十八銀行	24,404	
F F G証券株式会社	3,000	
百五証券株式会社	3,000	
四国アライアンス証券株式会社	3,000	
株式会社S B I証券	48,323	
ワイジェイFX株式会社	490	

東海東京証券株式会社	6,000	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
七十七証券株式会社	3,000	
北洋証券株式会社	3,000	
十六TT証券株式会社	3,000	
OKB証券株式会社	1,500	
auカブコム証券株式会社	7,196	
松井証券株式会社	11,945	

(省 略)

< 訂正後 >

1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) みずほ信託銀行株式会社(「受託会社」)

資本金の額

2020年3月末日現在、247,369百万円

(省 略)

< 再信託受託会社の概要 >

名称：株式会社日本カストディ銀行

資本金の額：51,000百万円(2020年7月27日現在)

(省 略)

(2) 販売会社

(資本金の額は2020年3月末日現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
株式会社福岡銀行	82,329	
株式会社熊本銀行	33,847	
株式会社親和銀行	36,878	
株式会社百五銀行	20,000	
株式会社伊予銀行	20,948	
株式会社大垣共立銀行	46,773	
株式会社北洋銀行	121,101	
株式会社静岡銀行	90,845	
株式会社千葉興業銀行	62,120	
株式会社常陽銀行	85,113	
株式会社百十四銀行	37,322	
株式会社群馬銀行	48,652	
株式会社イオン銀行	51,250	
株式会社武蔵野銀行	45,743	
株式会社京都銀行	42,103	
株式会社七十七銀行	24,658	
株式会社新生銀行	512,204	

株式会社ジャパンネット銀行	37,250	「銀行法」に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社中国銀行	15,149	
株式会社十八銀行	24,404	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
FFG証券株式会社	3,000	
百五証券株式会社	3,000	
四国アライアンス証券株式会社	3,000	
株式会社SBI証券	48,323	
ワイジェイFX株式会社	490	
東海東京証券株式会社	6,000	
七十七証券株式会社	3,000	
北洋証券株式会社	3,000	
十六TT証券株式会社	3,000	
OKB証券株式会社	1,500	
auカブコム証券株式会社	7,196	
松井証券株式会社	11,945	
楽天証券株式会社	7,495	

(省略)

独立監査人の監査報告書

令和2年7月1日

アストマックス投信投資顧問株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ
東京事務所指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 山田 信之 印

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているYjamプラス!の令和元年11月12日から令和2年5月11日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、Yjamプラス!の令和2年5月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アストマックス投信投資顧問株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確

実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アストマックス投信投資顧問株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- 1．上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
 - 2．XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2020年6月23日

アストマックス投信投資顧問株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 信之 印

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているアストマックス投信投資顧問株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第18期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、アストマックス投信投資顧問株式会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
1. 上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
 2. X B R L データは監査の対象には含まれておりません。